

# 消費税の大増税に反対する請願

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

年 月 日

団体名  
住 所  
代表者

(代表者名は手書き署名をお願いします)

## 請願趣旨

景気は回復基調にあるといわれますが、私たちの暮らしは、収入が落ち込み、医療・年金・介護などの負担が増えて苦しくなるばかりです。

2007年7月の参議院選挙では、住民税大増税をはじめ「貧困と格差」を深刻化させ、消費税増税に向かう与党(自民党・公明党)に、国民の厳しい審判が下りました。

消費税は、導入時も、5%への引き上げの時も、現在も「社会保障のため」「国の財政が大変」などが増税の理由とされます。しかし、消費税の導入・増税の一方で、医療や年金などの社会保障制度は改悪され、財政赤字は膨らみ続けてきています。また、07年度分までの消費税の税収合計が188兆円である一方、この間の法人3税の減収分は159兆円にものぼるなど、消費税は大企業の減税に消えているのが実態です。

社会保障財源を確保するには、大規模開発や軍事費などのムダづかいをきっぱりとやめ、税金の使い道を福祉と国民の暮らし優先に変えるべきではないでしょうか。税金の取り方も、大企業や大金持ちへのゆきすぎた優遇をやめるべきです。

消費税が増税されれば、国民の消費が落ち込み、地域経済はいっそう悪化してしまいます。そもそも消費税は大金持ちには負担が軽く、所得の低い人ほど重くなる、最悪の逆進的な税金です。いま問題の「貧困と格差」をいっそうひどくすることは明らかです。

私たちは、国民のくらしや家計を守るため、消費税の増税につよく反対します。

## 請願事項

1. 消費税の増税はやめること。

消費税廃止各界連絡会 取り扱い団体( )